



# 新春

# 市長座談会

## 市内産業を守り、育て

### 市民と築く活気とにぎわいのあるまちを目指して

平成24(2012)年明けましておめでとうございます。

今号の新春市長座談会には、市内の商工業を担う上尾商工会議所青年部、上尾企業研究会、上尾ものづくり協同組合青年部会、(社)上尾法人会上尾支部青年部会、領工青年交流会の各会長をお迎えして、「市内産業を守り、育て 市民と築く活気とにぎわいのあるまちを目指して」をテーマに語り合ってもらいました。

## 参加団体プロフィール

上尾企業研究会 会長 <sup>たかざわ ひでひと</sup> 高沢 英人さん (左上)

昭和40年に発足し、会員相互の親睦を図ると共に、切磋琢磨し互いに成長できる環境を創ることを目標にした会。平成26年には創立50周年を迎える。

(社)上尾法人会上尾支部青年部会 会長 <sup>おざき よしむ</sup> 尾崎 祥文さん (左下)

会員の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の向上と、企業経営・社会の健全な発展に貢献する会。青年部は研修会や親睦交流事業などを通じて、次代を担う青年経営者としての資質向上を図ると共に、会員相互の交流の場を提供する。

上尾商工会議所青年部 会長 <sup>さとう みつひろ</sup> 佐藤 充宏さん (右上)

地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い、次代への先導者としての責任を自覚し地域の経済的発展の支えとなり、新しい文化的創造をもって豊かで住みよい郷土づくりに貢献する。

上尾ものづくり協同組合青年部会 会長 <sup>たなか まさのり</sup> 田中 正哲さん (右中)

昭和49年に市内の主だった金属関連製造業を組織していた上尾金属工業協同組合(平成14年12月上尾ものづくり協同組合に改称)に在籍する若手リーダーが中心になり青年部を発足する。

領工青年交流会 会長 <sup>いいた かずのぶ</sup> 飯田 和伸さん (右下)

領家工業団地内の企業で、年数回の事業と「領工会まつり」を通じて交流を深め、活気ある活動を行っている。

商売をしていて希望が持てる  
まちになることを期待します。



上尾ものづくり協同組合青年部会長  
田中 正哲さん

**市長** 明けましておめでとうございます。今日は、上尾市の商工業を担って活躍されている若手経営者の皆さんにお越しいただきました。日ごろ、市内の商工業の発展にご尽力いただいています。皆さんの熱い思いを本日の座談会で語り合いたいと思います。

**全員** よろしくお願ひします。

**市内青年5団体が集まった経緯**

**市長** まずは、皆さんのつながりを教えていただけますか。

**佐藤** 「市内青年5団体」と称して、10年以上にわたり、いろいろな事業や取り組みをしてきましたが、2年ほど前から経済情勢も厳しくなったため活動を控えていました。それでも、会合などで顔を合わせる機会が多く、いろいろ話し合える仲間として、昨年4月の終わりがらから各会長が集うことを再開しました。

**商工業を担う青年としての役割や責務**

**市長** どのような経緯で活動を再開されたのですか。

**佐藤** 各会長が集まるなかで、一つの目標を持つことは難しいことです。市内の青年経済人の団体として、上尾の地を広く深く愛するということの共通の思いを再確認しながら会合を再開しました。

**高沢** 私たちは上尾で生まれ、上尾で育ちましたので、やはり同年代で同じ思いを持った仲間が団結し、さらに上尾を良いまちにできたらという強い思いがあります。

**尾崎** 私が以前、上尾企業研究会の会長をしていた年、5団体の活動を控えることになりました。2年が過ぎて、もう一度5団体が集まろうということになり、法人会青年部の会長として参加することにしました。

**市長** 団結は大きな力になりますよね。市の商工業を發展させていくために、各団体と皆さんに与えられた役割や責務で考えていることを聞かせてください。

**飯田** 領工青年交流会は、領家工業団地内にあります。地域住民もいる中で、一つ一つの企業が環境問題

への対応などを充実させていかなければ理解が得られません。また行政には、領家にしつかりとした工業団地があることを宣伝してもらい、会社を設立しやすい環境を作り出してもらおうことで、發展していくのではないのでしょうか。青年交流会は親睦団体ですので「領工会まつり」など楽しい催し物を企画して知名度を上げていきたいと思っています。

**市長** 時代の流れもあり、領家工業団地を取り巻く環境も、大変厳しくなっているとは思いますが。私たち行政もできるかぎりお手伝いをしていきますので、若い力で頑張ってください。

**田中** 上尾ものづくり協同組合も製造業の集まりで、上尾、桶川、伊奈の企業が集まっています。団体の構成企業の数に変化はありませんが、青年部会の人員は減ってきています。つまり、後継者が減っているということです。今後は、活発に交流を深め、これからの会社経営や工業の發展などを議論していかなければならないと思っています。

**市長** 後継者の問題は、なかなか難しいものがありますね。

**田中** 上尾で商売をしていて希望が持てるまちになることを期待しています。行政に頼るだけではなく、私

上尾を広く深く愛するということ  
共通の思いを持っています。



上尾商工会議所青年部会長  
佐藤 充宏さん

**市民との協働**

たち若手が一緒に知恵を出して、上尾市を住みやすくしていきたいです。

**市長** ことしは辰年ですが、素晴らしい飛躍の年になりますよう、抱負をお話いただけますか。

**高沢** 上尾企業研究会は主に建築業界で、自分で起業した、または二代目を中心の会です。大手企業と比較されることもありますが、昔の御用聞きのように、近所付き合いの中でかゆい所に手が届く密着性を高めることで地域が活性化されていくともさらに飛躍できると思います。

**市長** 確かに御用聞きのように、近所付き合いに関しては、大手企業にはまねできないことです。

今回、東日本大震災で多くの人が被害に遭われました。そのような中で「絆」という言葉が注目され、昨年の漢字にも選ばれています。この心

と心をつなぐ「絆」を合言葉に、若手ならではのアイデアをどんどん出してもらえれば、上尾がもっと元気になると思います。

**尾崎** 上尾法人会は、主に税の啓発活動を行っています。昨年11月に開催された「あげお産業祭」では、税の仕組みを子どもたちに知ってもらえるよう紙芝居を行いました。商工業の発展は税の増収にもつながることから、青年部も親団体をサポートして、税について正しく知ってもらおう活動を重視しています。

**市長** 税への正しい理解を進める活動は大変ありがたいことです。市も商工業を後押しして、納税しやすい環境を整えていきますが、その時皆さんが団体の中心になって活躍されていると頼もしいですね。

**佐藤** 商工会議所青年部は「地域を支える青年経済人として皆さんに努めよう」という指針があります。そ



**尾崎 祥文さん**  
「商工業の発展は上尾の発展につながります。」



5団体も参加した「あげお産業祭」

の根底には、上尾に生まれ、あるいは地域で育った青年経済人として、このまちを支えるのだという気概があります。

**市長** 皆さんのように、市のことを真剣に考えてくれる青年が多くいらっしゃることは本当に心強い。**佐藤** 昨年、「あげお産業祭」で行われた「キラリ☆あげおご当地グルメ祭り」では、全面協力という形で参加できました。このような新しい事業に協働できることが大変うれしく、市を経済から発展・活性化させるという目的も達成できると思います。上尾を愛し、さらなる発展を目指すという方向性を、青年部の会長として次代につなげ、もう

一步進めて親団体や5団体、行政との関わりを密にしたいと考えています。

**市長** やはり商工会議所が元気だと各企業も元気であ

るという証しですので、地域を支える青年として頑張っている皆さんを心から応援します。

### 行政に求めること

**市長** 今までの話と重複する部分もありますが、上尾市の将来像、こんな上尾市であってほしいという要望をお伺いしたいと思います。

**飯田** 私も今までに大きく変化した上尾を目の当たりにしてきました。近代化されていくのと反比例するようになって、近所付き合いが希薄になっていくのを肌で感じます。地域の中でも、昔からいる人と新しく転入してきた人とのコミュニケーションがうまく取れていないのではないかと感じます。行政にも身近に触れ合える機会づくりを考えていただき、地域ぐるみで仲良くしていけたらと考えています。

**市長** 確かにコミュニケーション不足といわれている現在ですが、先ほども話に出た「絆」が芽生えつつある今、本日も話しいただいた提案も大いに参考にしながら、今後のまちづくりを生かしていきたいと思っております。「領工会まつり」も地域とのつながりの中で、今後さらに素晴らし

い祭りになるのではないかとあらた



**飯田 和伸さん**  
「地域ぐるみで仲良くしていけたらと考えます。」

めて期待しています。

**田中** 私にとって上尾は、大変住みやすいまちだと実感しています。子ども医療費の充実や市内循環バス「ぐるつとくん」の運行、土曜日開庁など、生活環境は優れています。しかし商売という観点から考えると厳しい点も多々あり、行政の協力をお願いする場面が出てくると思われ

**市長** 住みやすいと言ってもらえるとうれしいです。また商工業の発展は上尾の活性化に欠かせないことから、後押しは惜しみません。

**田中** もちろん行政だけに頼るのではなく、私たちにできることを探しています。工業、商業含めて個々ではできないようなこと、また各団体間を取り持つなどの機会をうまく作るような協力をお願いできればうれしいです。ものづくりの拠点をつくり、工業を活性化させることが私たち上尾ものづくり協同組合の夢で



みなんで「笑顔きらめくほつとくまなまち あげお」を実現しましょう。

市長 島村 稜

もあります。  
**市長** 確かに物事を進めるに当たって、拠点が必要な役割を担うと思います。また本日お集まりの皆さんのような若い人たちが、連携を取りながら、互いに知恵を出し合い協力していくことにより、さらに良い物ができると確信しています。皆さんが結束している今、この機会を生かしてもらえれば本当に心強いかがりです。

上尾市の将来像

**市長** 皆さんは昨年11月5日の「花いっぱい運動」に参加してくださいでしたが、バリアフリーを備えた駅前がきれいになると、人も集まりやすくなると思います。しかし、もつと市を魅力的にするためにはいろいろなアイデアを考えなければなりません。  
**高沢** 幼かったころ、バスに乗って上尾駅に行って遊ぶことが夢で、それが大人への階段の第一歩になって

いた気がします。私も、もつと子どもたちが憧れるまち、魅力のある駅前を目指すことが大切だと感じています。さらに、お年寄りに優しく、若者がお年寄りに貢献できるような施策が、駅前をさらに活気づけると考えています。

**市長** 私は「こどもからおとしりまですべてにやさしい思いやり市政」を目標に、各種施策に取り組みていますが、行政だけでできることには限りがあります。先ほどの「花いっぱい運動」には、子ども会や中学生、地域の敬老会などにもご協力いただいています。このような催しを通じて交流を増やし、そこに青年5団体を中心とした若者が関わり、後押しをしてくだされば本当に心強いです。

**田中** あげおイルミネーションでは、私も親子で飾り付けを手伝いました。イルミネーションがきれいだから行って写真を撮ろうとか、自然と人が集まれる場所が多くなつてほしいですね。

**佐藤** 「花いっぱい運動」の時にも話していたのですが、色とりどりの花で「アップピー」を作り、待ち合わせのシンボルのような物ができると楽しいですよ。駅



「キラリ☆あげお ご当地グルメ祭り」ではフレッシュあげおと新しくなったアップピーも応援

前に来る楽しみがあれば、上尾駅を中心に発展できるのではないのでしょうか。  
**市長** あげおイルミネーションも趣向を変えて、親子での飾り付けの他に、市内10地区を地域ごとに色を決め、団結を表現したものを飾りました。こちら各企業の協賛と、田中さんの親団体である上尾ものづくり協同組合の全面的な支援によって成り立っています。



子どもたちが憧れるまち、お年寄りに優しいまちを、目指すことが大切です。

上尾企業研究会会長 高沢 英人さん

市職員も熱く意見を交換し合い、このような集まりを続けていければ、上尾がさらに元気になっていくのではないかと感じました。

**市長** 上尾市の22万7千余りの人が、本当に笑顔で、住んで良かった、住み続けたいと思ってもらえるまちでありたいと考えています。上尾は10年後の将来都市像である

「笑顔きらめくほつとくまなまち あげお」を目指していかなければいけません。行政の力だけではなく、先ほどお話にあった「賑わい創造政策形成研修」のように、いろいろな視点から得た意見を取り入れていく必要があります。

ぜひ5団体の皆さんの若さあふれるエネルギーを大きく育てていただき、上尾市の発展のために共に歩んでいきましょう。本日は本当にありがとうございます。

全員 ありがとうございます。